

画像診断報告書

患者ID	〇〇〇〇〇-〇〇〇〇		
患者氏名	〇〇 〇〇 様（女）	生年月日	19XX 年 XX 月 XX 日（検査時 75 歳）
臨床診断	頚椎症性脊髄症		
検査目的	上記精査目的です。		
臨床情報	H〇年より両手指のシビレ、こうち障害あり。上記診断にて経過観察中。2週間程前より、けいせい歩行、両上肢疼痛増悪にて精査目的です。（△△病院）		
部位/モダリティ	頚椎／ MR	検査日時	20XX 年 XX 月 XX 日 XX:XX
検査実施 医療機関	〇〇病院	造影剤	
依頼医/依頼科	／	病棟	
希望対応	通常		

読影担当医	〇〇 〇〇
読影所見	<p>平素より、大変お世話になります。今回はご紹介ありがとうございました。</p> <p>頚椎は直線的な配列で、C4 椎体は、やや前方に迂りがありそうです。 椎間板は全般に軽度の変性があり、C3/4 椎間板は後方に膨隆しています。ルシユカ関節過形成があり、椎間孔を両側性に狭小化しています。 脊髄にも圧迫がみられ、T2 強調像高信号となっています。頚椎症性脊髄症を思わせます。 C4/5、C5/6、C6/7 両側性にルシユカ関節過形成があり、椎間孔の狭小化がみられます。神経根症の合併も疑われます。 明らかな器質的病変を認めません。 活動性炎症を示唆する所見はありません。 その他、明らかな異常を指摘できません。</p> <p>以上、ご報告申し上げます。 今後もよろしくお願いします。</p>
読影診断	頚椎症性脊髄神経根症疑い

